

森議員 質問を申し上げます。河川の土砂撤去及び改修、清掃に関してお尋ねします。牟岐川は下流から上流までの間、数年来の雨で土砂が溜まり雑木、雑草が生えて川の幅が狭くなり川底が数メートルも上がっているところもあります。また、水田の用水路に水がこないなどの問題が生じています。洪水によって、堤防、土手の崩壊の危険箇所が数箇所ございます。そして、土砂の影響かどうかわかりませんが、川魚が以前に比べて数も種類も極端に減っています。毎年4月に鮎が放流されています。昨年度は3箇所に42kg、約6千匹くらいだと思います。餌になる苔が少なく成長する数も少ないと思われます。また、夏場わずかな河原でキャンプ、バーベキューをして、川遊びをして、多くの方が子ども連れで楽しんでます。もう少し広くて安心して遊べる場所があればと思います。いつ来るかわからない南海、東南海地震に対して、津波の防災、河川の洪水被害の観点から、また、水の確保、水泳などの遊び場、環境、景観面から見ても土砂を撤去し、雑草などの清掃、整備が必要だと思います。次に関連しますが、東の観音寺川の土砂撤去の予定も併せて今後の対応、対処、予定などを説明をお願いします。

枘富議長 福井町長。

福井町長 まず牟岐川の土砂の対策による環境悪化と防災上の危険性についてでございますが、元来河川の維持管理は、災害防止の観点から、また、河川の適正利用、環境の保全の観点から河川の有する多面的機能を十分発揮できるように行われるべきでございます。しかしながら森議員がご心配のとおり、近年土砂の堆積により多くの河川の下流部分の河床高が起こっております。牟岐川におきましても堆積土砂の撤去が適正に行えないため雑木や雑草の繁茂、排水有効面積の減少、河床の上昇による堤防の崩壊の危険等が危惧されております。このため県にもできる限りの対策をお願いしておりますが、洪水対策は、全県下的な問題でもございまして、財政上の課題と土砂の処分場所等の問題で、大きな成果は現時点ではいただいております。ただ、雑草につきましては、平成20年より定期的に除草していただいております。今年度町が処分場を取得しましたところから現在除草を行っていただいております。今後はできるだけ早期に町も残土処分場を用意し、再度県に土砂撤去の要望をしまいたいと考えております。皆様方のご協力をよろしく願いいたします。次に観音寺川の土砂の撤去予定でございますが、これは、今年度予算付けをいただいております。3月中にも撤去する予定でございます。いずれにいたしましても公共工事も減少し、町や県の財源が不足

する中、道路や河川の適正管理は行政の大きな課題でございます。また、雑草、雑木の繁茂は、景観上も大きな課題でございますので、できる限り地元の皆様のご協力を得て官民一体となった管理を行ってまいりたいと考えておりますので、皆様方のご協力をよろしく申し上げます。

枅富議長 寒葉産業建設課長。

寒葉産業建設課長 私の方からは、森議員さんの牟岐川の土砂堆積対策、危険箇所の対策について、町長の補足答弁とさせていただきます。まず牟岐川の土砂堆積対策、雑木除去対策について、お答えをさせていただきます。この対策につきましては、先程、町長の答弁にもございましたように平成20年より県によりまして、アシ、ヨシの除去ということで、清水橋から上流にかけて取り除きを実施していただきました。また、本年度には清水橋の上下流、それから、上流側でございますが、平野地区、平野橋の上下流のアシ、ヨシ、雑木の除去を実施していただいております。その他の河川といたしましては、内妻地区の内妻川におきましても同じアシ、ヨシの除去対策を実施していただきました。また、土砂堆積に関しましては、牟岐川、橘川の合流点の堆積土砂の取り除きも実施していただきましたが、現在は、元どおりの状況でかなりの土砂が堆積されております。状況を見ながら町といたしましても管理者の県の方に今後も要望をしていきたいと考えています。基本的には河川の通水断面が確保されていれば、取り除きするのは難しい面もあるかと思いますが、町といたしましても今後とも要望を重ねてまいりたいというふうに考えております。さらには特に異常気象で、雨の降り方も以前とは違い、豪雨型が多く、集中豪雨型が多くなっておりまして、河川の護岸洗掘されている箇所が多く見受けられるようになってきました。調査も含めて、これも同じく2級河川につきましては県管理ということでございますので、県の方に要望をしてまいりたいと思います。そして、現在県の事業によりまして、いきいき健康モデル事業ということで、牟岐川を対象にいたしまして中央橋から国道牟岐橋の間におきまして河川環境を含めた事業実施をしていただいております。地域住民との共同での対応ということで実施していただく予定になっております。また、牟岐川以外の町内の河川でもボランティアの方々による護岸の法面等の草刈り等を実施していただいております。今後河川管理につきましても河川のみで考えるのではなく、それぞれが持つ機能を生かして先程、森議員さんもお質問の中にごございましたように生態系、環境問題も含めて全ての

川だけとして捉えるのではなく、山、川、海と全体で捉えまして住民の方々との意見交換を踏まえまして、今後の河川管理ということを考えていきたいというふうに考えております。最後に観音寺川につきましては、町長の答弁もございましたように今年度予算付けをしていただいておりますので、3月末には完成する予定でございます。現在、今週より工事着工というような状況でございます。以上でご答弁とさせていただきます。

枅富議長 森議員。

森議員 先程、質問の中で、こちらの質問の中で川魚、本当に川に入るとフナとかドジョウ、以前のそういう面の生育しておりました魚が居ないという中で、先程の鮎の方も一応、説明したのですが、川の中、本当に少ない。環境をだいぶそういう面では悪化していると、今後一つまた何かの対応で環境が元に戻るように、また、一つよろしくお願いいいたします。以上で質問終わります。